

みんぱく映画会

みんぱくワールドシネマ

映像に描かれる<包摶と自律>

—支援と絆—



路上のソリスト

第16回上映会

2012年7月14日[土] 13:30~16:30(開場13:00)

場所 国立民族学博物館 講堂

参加料 無料(ただし、本館展示をご覧になる方は観覧料が必要です。)

定員 450名 入場整理券を10:00から講堂入口にて配布します。事前申込は不要です。

主催 国立民族学博物館

THE SOLOIST

2009年／アメリカ映画／英語／117分

監督／ジョー・ライト 出演／ジェイミー・フォックス ロバート・ダウニーJr

司会 鈴木 紀(国立民族学博物館 先端人類科学研究所・准教授)

解説 佐野章二(ピッグイシュー日本代表)

お問い合わせ 国立民族学博物館 広報企画室 企画連携係 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
TEL. 06-6878-8210(土日祝を除く9:00~17:00) <http://www.minpaku.ac.jp/>



国立民族学博物館



みんぱく映画会

みんぱくワールドシネマ

映像に描かれる<包摶と自律>

—支援と絆—

国立民族学博物館では、2009年秋から開始した機関研究<包摶と自律の人間学>のテーマにあわせて、研究者による解説付きの上映会「みんぱくワールドシネマ」を実施しています。第4期は<支援と絆>をキーワードに映画上映を展開していきます。今回は、アメリカ映画「路上のソリスト」を上映します。路上に暮らす天才チェリストと彼を取材する新聞のコラムニストとの交流を通して、支援について皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

第16回上映会

2012年7月14日(土) 13:30~16:30(開場13:00)

場所 国立民族学博物館 講堂

参加料 無料(ただし、本館展示をご覧になる方は観覧料が必要です。)

定員 450名

入場整理券を10:00から講堂入口にて配布いたします。事前申込は不要です。

主催 国立民族学博物館

路上のソリスト THE SOLOIST

2009年／アメリカ映画／英語／117分

監督／ジョー・ライト 出演／ジェイミー・フォックス ロバート・ダウニーJr

司会 鈴木 紀(国立民族学博物館 先端人類科学研究部・准教授)

解説 佐野章二(ビッグイシュー日本代表)

映画解説

名門音楽学校でチェロを学びながらも、ある事情から路上での生活を選んだ演奏家と、その奏でる繊細な音色に惹かれるうちに、彼との信頼関係を築いていく記者との交流を綴り、多くの読者の心を掴んだロサンゼルス・タイムズ紙のコラムの映画化。実話をユニークな視点で捉え直した英国の気鋭・ジョー・ライト監督の指名を受け、『アイアンマン』『シャーロック・ホームズ』シリーズで、一筋縄ではないかのヒーロー像を打ち出すロバート・ダウニーJrが、職業的な正義感や野心に駆られるジャーナリストの、人間として真の友情に目覚めていく姿に、説得力を与えている。善意からの行為であれ裏目に出る危険を伴う、支援活動のジレンマにも目を向けて、相互を尊重し、理解を深め、支え合う姿勢の大切さが、音楽のもつ普遍的な力を通じて、ダイレクトに伝わる好篇である。(服部香穂里)

映画「路上のソリスト」にみる支援・被支援の人間関係

この映画は、ホームレスになった音楽的才能豊かなナサニエルと、彼と出会った新聞記者ロペスの再生の物語である。

記者ロペスにとってナサニエルは何よりも取材対象であり、彼が著名な音楽学校の元学生でなかったら興味は持たなかつたはずだ。次にロペスは彼を記事にし、読者から贈られてきた楽器を彼に提供する。そして、善意に支援者となったロペスはナサニエルの音楽的感受性に感動し、ナサニエルもまたロペスを敬うようになっていく。しかしロペスが、ナサニエルを社会復帰させようとした時、2人の間に大きなずれ違ひが生じる。困惑しながら、ロペスはナサニエルとの付き合い方を学んでいかざるをえなかつた。

このロペスとナサニエルの関係は、ホームレスのように社会から排除された人々と、彼らを支援したいという市民の関係に重ねて見ることができる。映画と同様に、支援されるナサニエルよりも支援するロペスの方が人間として変化を遂げていくことは現実にある。

また映画では、ナサニエルがホームレス状態になった一因として心の病いが示唆されているが、最近、日本でも増えつつある若いホームレスの人には同様の問題を抱えるケースが多く見られるようになっている。(佐野章二)



予告 日印国交樹立60周年

みんぱく映画会 インド・クラシック映画特集

国立民族学博物館講堂にて 夏 開催予定!

詳細は決まり次第、ホームページ <http://www.minpaku.ac.jp> でご案内します。

「包摶と自律の人間学—支援と絆—」

国立民族学博物館 先端人類科学研究部・准教授 鈴木 紀
包摶とは、自分では解決できない困難を抱えている人に対して、他の人や社会全体が支援の手をさしのべることを意味します。自律とは、支援を受けた人が少しずつ自信をつけ、やがて自分でその問題に向きあえるようになることを意味します。このように包摶と自律を実現するためには、支援という行為が鍵になります。それでは、よい支援とはどのようなものでしょうか。それは支援する人と支援を受けるとの間に信頼感が育まれ、相互に強い絆を意識するような場合ではないでしょうか。もとより、おざなりな支援からは絆は生まれませんが、過剰な支援も絆を支配従属関係に変えてしまう危険性があります。そのためよりよい支援のためには、なぜ、どのくらい、いつまで、誰に支援するか／誰から支援を受けるかが問われることになります。支援と絆をめぐるこうした問題を、映画を通して考えましょう。

交通のご案内

*国立民族学博物館(みんぱく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。「みんぱく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

●大阪モノレール

「万博記念公園駅」下車徒歩約15分

* 映画会のみ参加される方は、自然文化園(有料区域)を通行される場合、入園料が必要となります。

「公園東口駅」下車徒歩約15分

*「公園東口駅」からは自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。

●バス

(近鉄バス) (阪大本部前行き) 阪急茨木市駅から約20分

JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分

(阪急バス) (万博記念公園駅経由千里中央行き)

阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分

「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分

●タクシー

万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。

下車、徒歩約5分

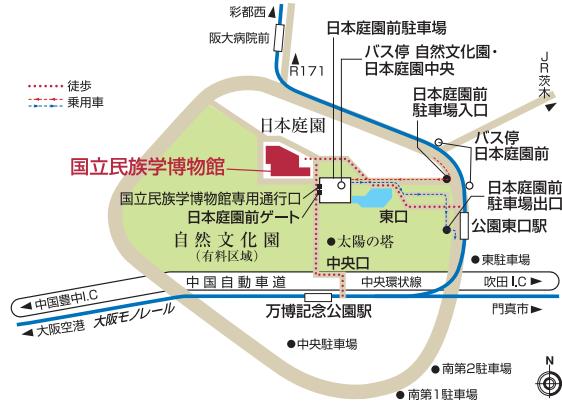
●自動車

駐車施設が無いため「みんぱく」への車の乗り入れはできません。

万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。

最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分

*「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通りください。



お問い合わせ

国立民族学博物館 広報企画室 企画連携係

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号

TEL.06-6878-8210 (土日祝を除く9:00~17:00)

<http://www.minpaku.ac.jp/>

次回予告

第17回上映会

2012年9月22日(土・祝)

君を想って海をゆく WELCOME

2009年／フランス映画／
フランス語・英語・クリエ語／
110分／日本語字幕付き

監督／フィリップ・リオレ
出演／ヴァンサン・ランソン
フィラ・エヴェルディ



© 2009 Nord-Ouest Films-Studio37-France 3 Cinéma-Mars Films-Fin Août Productions.



国立民族学博物館